

小松原庸子スペイン舞踊団

パッション・デル・フラメンコ



1969年の設立から40年余りの歴史を誇る小松原庸子スペイン舞踊団。日本を代表する舞踊団として、スペイン舞踊界の第一線で活躍を続け、東京の夏の風物詩の一つともなった「真夏の夜のフラメンコ」をはじめとする公演の数々は、規模も回数も他団体の追随を許さない確固たるステータスを築き上げました。50周年に向け、ますます活発な活動を繰り広げており、その国内外での精力的な公演活動が高く評価されています。

人気の秘密はフラメンコへの情熱。小松原庸子は1959年に初来日したスペイン舞踊団の公演に感動し、スペインに留学、エンリケ・エル・コホに師事。以来、スペインと日本とを年に何度も往復する生活の中で、スペイン人からも一目置かれる独自のスタイ

ルを確立。テクニックだけでなく「心で踊る」フラメンコにこだわり「人間の生き様」を表現したドラマチックな表現で数々の名演を繰り広げ、スペインにおいて優れた芸術家に贈られる「APDE賞」、ならびにフラメンコの最も権威ある賞「コンパス・デル・カンテ」を受賞、さらにはスペイン国王より「イザベル女王勲章・エンコミエンダ章」を授章するなど、数々の賞を受賞しています。

彼女は舞踊団としての存在にも高い関心を抱き続け、彼女の率いる舞踊団は、スペイン各地の民族舞踊や古典舞踊の継承だけでなく、新しい作品の創作や日本の古典芸能とのコラボレーションを実現させるなど、積極的な姿勢で個人の舞踊団として稀有の存在となっています。スペイン

でも「こんなにも深く離れた東の国の人々が、こんなにも深くスペインを理解し愛していたとは」と称賛されています。

今回の公演「パッション・デル・フラメンコ」では、サパテアード(靴音)、カスターネット、手拍子など、踊りの中でリズムを刻むフラメンコならではの様々な音を駆使して様々な感情を訴える、その名の通り情熱的な迫力満点なステージです。スペインからゲストとして歌手や男性舞踊手を招き、色鮮やかな衣装とともに、アンダルシアの香りを再現いたします。人生の悲しみ、そして生きる素晴らしさを謳歌するのがフラメンコ。その真髄と醍醐味をぎっしり詰め込んだパフォーマンスは、観客の皆さんの様々な感情を呼び起こします。

出演者 小松原庸子スペイン舞踊団、他(スペイン人アーティスト)

予定曲目 未定

予定開催地域 全国17都市